

令和2年11月17日

西部農林振興センター 益田事務所 農業普及部

標 題

ユズの香りで物語をつむぐオンライン講座が開催されました！

(ダイジェスト)

11月4日、ユズの香りから連想した言葉で物語を作るオンライン講座が開催され、益田市美都町の都茂小学校3、4年生10名が参加しました。農家とのつながりやユズへの関心を深める場となりました。

益田市柚子産地づくり推進協議会では、生産者組合と加工販売業者、関係機関が相互に連携し、益田市美都町の地域資源であるユズの振興を図り、地域産業の発展を目指す取組を行っています。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、ユズをPRするために参加する予定だったイベントが次々と中止になっているため、それらに代わる新たな取組として、11月4日、7日に地元の小学生を対象とした香りから物語を作るオンライン講座を開催しました。

講座は、嗅覚の感性を育む小学校向け教育プログラム等を展開するSCENTMATIC株式会社（東京）の講師により行われ、香りを通して、ひとりひとりの感じ方の違いを実感し、多様性を体感することと、地域の特産品を題材として扱うことで、地元への愛着を形成することを目的としています。

11月4日の講座では、児童1人1人にユズが配られ授業開始。ユズをこすったり、皮を爪でガリガリしたりして香りを感じたあと、香りから連想される景色や季節、音、生き物等を紙に書き出していき、ストーリーや絵を考えました。体験した児童は、「匂っているうちに色々な言葉が浮かんだ。最初は難しいと思っていたけれど、楽しくて夢中になった。」と笑顔で話してくれました。完成した作品は、11月7日に開催された各家庭での個別講座のものも含め、地元の温泉施設に展示される予定です。

普及部では、引き続き産地づくり、地域づくりにつながる取組を支援していきます。



【講座の様子】



【児童の作品】